

学校名	川越市立高階西中学校
所在地	川越市砂新田2593
電話	049-244-6741

1 本校の概要

本校は、昭和60年に開校した川越市内では比較的新しい学校である。川越市の南西部に位置し、校地の南側と北側は武蔵野の雑木林に囲まれ、緑豊かな環境の中にある。7クラス、221名の生徒が「自ら学び考え行動する生徒」の学校教育目標のもと学習に取り組んでいる。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

(2) 実践の概要

ア 朝読書の推進

毎朝10分間の読書タイムでは、登校後チャイムと同時に読書を始めるよう徹底した指導のもと、全校生徒が静かに読書に集中できる環境が整えられている。また、学級担任がクラスの状況にあわせて選書し、PTAからの支援によって各学級の学級文庫の充実を図っている。



イ 図書委員会の活動

本校の図書委員会では、図書室の環境整備や、おすすめ本の紹介を中心に行っている。環境整備では、探している本がすぐにみつかると、書架表示板を作成した。本紹介では、図書委員会新聞の発行、ポスターの廊下掲示、POPの作成と展示を行った。カウンター前では、来訪者の目を引くよう、「シークレットコーナー」を設置し、普段読まないジャンルの本との出会いを提供するなど、読書活動の推進を図っている。



ウ ビブリオバトル

国語の授業においてビブリオバトルを行った。3分間で本の紹介スピーチを行い、2分間の質疑応答の時間をとった後、最も読みたくなった本の投票を行う。まず、グループ内で予選をおこない、そこを勝ち抜いた代表者が学級全体の前でスピーチと質疑応答を行い優勝者を決めた。ビブリオバトルで紹介された本は、図書室でコーナーを作り紹介した。

エ 図書整理員との連携

本校では、図書整理員が週2〜3回勤務している。4月の図書館ガイダンスや、図書室で授業を行った際には、豊富な知識を活かしブックトークを行っている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

長期休業前には、図書委員会のおすすめ本紹介に力をいれ、POPの作成を行った。また、長期休業特別貸出で普段より3冊多い、一人5冊までの貸出を可能とした。一学期の最後の授業は、ブックトークやPOPによる宣伝の効果があり、7月の貸出数は、大幅な伸びが見られた

(2) 課題

昨年と比較すると、学年によってばらつきはあるが、全体として貸出数が伸びている。朝の読書や図書委員会での働きかけをきっかけに、図書室へ足を運ぶ生徒が増えた。国語科で長期休業日前に図書室で授業を行ったことで本の貸出数が増えているので今後も続けていきたい。

